

本日のプログラム

2023年9月27日(水)
通算第3052回例会
本年度第9回
瀬戸商工会議所
例会次第

- ・開会点鐘
- ・「それでこそロータリー」
- ・出席状況
- ・会長挨拶
- ・行事
- ・祝福
- ・幹事報告
- ・委員会報告
- ・その他の報告
- ・卓話

花田 薫君 一山 清二君
「新会員の卓話」



第3051回例会 会長 青山 稔君 挨拶

皆さんこんにちは。本日は 第 3051 回 本年度 8 回目の例会です。本日はガバナー補佐訪問であります。本日のゲストをご紹介します。RI2760 地区 東尾張分区 ガバナー補佐 津坂守英様、RI2760 地区 地区副幹事 光岡主税様、RI2760 地区 東尾張分区 分区幹事 小塚美知子様です。津坂ガバナー補佐様には後程卓話をして頂きます。宜しくお願い頂きます。

さて今日は、東北の話をして頂きます。私と東北との縁は、2011年3月11日、あの『東日本大震災』。当時、私は日進にいます A 学院大学の大学 PTA の会長を務めておりました。震災後に、残念なことに一人の学生さんが津波に流され、まだ行方不明という報告を受けました。彼は、岩手県釜石市の隣町、大槌町の江岸寺さんというお寺さんの息子さんです。将来お寺の跡継ぎになるため、A 学院大学の文学部宗教学科に当時在籍していた学生さんでした。春休みの帰省中での被災です。

大学では被災した学友がいるという悲しい縁で、2年後の2013年から、学生ボランティアで大槌町へ送ることになりまして、私も2回ボランティア学生の視察・応援という名目で大槌町の方に足を運ぶことになりました。何度も何ううちにご両親(ご住職と奥様)とも仲良しになり、一緒に酒を酌み交わす仲になっていきました。

行き始めて数年たった時、そのお寺の裏の丘の斜面にあります墓地の中腹に、津波到達地点と書かれた石碑を見つけました。よく見てみますとその石碑には「国際ロータリー第 2520 地区大槌ロータリークラブ寄贈」と書かれておりました。そこで大槌 RC というクラブの存在を知ったわけでありまして。しかしその時点では何のアクションも起こしませんでした。コロナによってボランティア活動が中止になる2019年までの7年間、毎年伺っておりました。そしてコロナも少し落ち着いて今年3月、13回忌(丸12年)を迎える11日の日にどうしても現地・江岸寺さんと黙祷をささげたいと思い、よし行こうと決めたわけです。どうせ行くならせっかくだから大槌 RC さんの例会に出席させて頂こうと考え、大槌 RC さんを調べてみましたが…よくわかりませんでした。

事務局もなければ連絡先に電話してもなかなかうまくつながらない。例会場が小川旅館さんということだけわかりましたので、小川旅館さんに電話してみましたが、らちがあかない。道又先生か植田先生に聞いてください、申し訳ありませんと切られてしまうし…。先生とおっしゃっていたので、お医者さんかな?と思い、グーグルマップで調べましたら、見つけました、道又内科小児

科医院、植田医院。早々に連絡をしてみましたらやはり大槌 RC のメンバーさんでありました。そこで3月10日に伺ってきました。

大槌 RC さんは今現在6名で活動されております。震災前は17~18名おられたようですが、メンバーが被災されたり、会社が流されてとてもロータリー活動ができない、などの理由で多くの方が退会されたりとの事でした。ちなみに、大槌町は当時人口15,000人。死者・行方不明者1,300人は1割弱。今は奉仕活動など手が回らず、月2回、昼食を共にする例会をするのが限界なんです。でも、何とかロータリーを続けたという気持ちだけで細々と活動されているそうであります。当然、交流事業とかはとてもできる状態ではないというお話でした。もちろん私も交流とか大きなことは考えてなく、何かの縁で伺っただけでありましたので、また大槌に伺った時にはご挨拶させていただきます、と帰ってきました。

それで大槌 RC さんとの縁は一応これで一旦終了という形になりましたが、この話には落ちがついておりました。先々週、私たちの仲間でもあります野田正治先生と会食する機会がありまして、その話をしておりましたら、野田先生が、その道又さんは衛って名前?と聞かれ、そうです道又衛さんですと答えたら…同級生だ、岩手だろ?と言われ、ただただ驚きました。翌日、早々に道又先生にメールで確認しました。間違いなく野田先生ご夫妻と道又先生は同級生でありました。道又先生も大変驚かれ、野田先生に、元気でやっていますとお伝えくださいとおっしゃっていました。

本当に驚きで、これもみなロータリーがもたらした縁、偶然?だと思います。素晴らしい縁に、ロータリーに対し心より感謝したいと思います。

今年は親睦事業を最重点目標に掲げましたが、刑部親睦活動委員長が来年3月16日・17日と岩手県大槌町方面の旅行を企画してくれました。大槌町・江岸寺さんでの和尚さんの法話・大槌 RC 道又会長・植田先生との面談もセッティングしたいと考えております。もちろん野田先生にも一緒に行っていたりです。ぜひ皆さんご一緒頂けたらと思っています。と親睦旅行のご案内・勧誘もさせて頂き、本日の挨拶とさせていただきます。

本日も宜しくお願い致します。

前回例会 記録

- ・2023年9月13日第3051回例会
- ・場所 瀬戸商工会議所
- ・出席報告 54名 出席会員 42名
当日出席率 87.5%
- ・行事
- ・本人誕生日
増岡 錦也君
- ・卓話

RI 第 2760 地区東尾張分区
ガバナー補佐 津坂 守英君
「ガバナー補佐訪問に因んで」

例会予定

10月4日(水)
米山奨学生 ドティホンクエンさん
「ベトナムの秋」

10月11日(水)
ガバナー公式訪問
【ホスト:瀬戸 RC】
於:ホテルメルパルク名古屋
RI 第 2760 地区ガバナー
酒井 法文君
「ガバナー公式訪問に因んで」

10月18日(水)
規定休日

RI 第 2760 地区東尾張分区 ガバナー補佐 津坂 守英君 「ガバナー補佐訪問に因んで」



当年度東尾張分区ガバナー補佐 津坂守英です。どうかよろしくお願いたします。

ゴードン R. マッキナリー 2023-24 年度 RI 会長の掲げるテーマは「世界に希望を生み出そう」です。まずは平和の構築に主眼を置くことで、その土壌の上に希望を根付かせることができると訴えておられます。そして他の人を助けることが自身のメンタルヘルス向上につながることも言及しています。

酒井法丈当地区 2023-24 年度ガバナーの地区方針は「培おうプライド、育もうブランド、そして未来へ」。ロータリアンとしてのプライドを堅持し、ロータリーというブランドイメージを地域社会において高めることで、未来に向かって着実に歩みを進める礎にしようというメッセージが込められています。今年度ガバナー特別賞は有意義な事業活動を行なった上で、米山記念奨学事業として一人平均 2 万円以上の寄付、クラブ特別寄付率 80%以上の達成をしたクラブが対象となります。是非挑戦して下さい。ガバナーからのお願事項は以下のものです。

1. 充実した例会運営
2. コロナ前に会員数を戻す
3. MY ROTARY を活用し、クラブセントラルに明確な目標を立てる
4. 地区補助金を有効に使った奉仕活動
5. 米山や青少年交換等、積極的に受け入れる土壌を作る
6. ポリオ根絶キャンペーンをクラブ単位で行う
7. 地区大会への登録、参加
8. 国際大会(シンガポール)への参加

さて、これからはロータリー創成期の流れをある一面から遡ってみることにします。

1935 年、ロータリー創始者ポール・ハリスは、実は日本を来訪しているのです。当時の帝国ホテルの庭に月桂樹の苗木を植樹されました。クラブ創設の理由を問われた時、寂しかったからと率直に答えられています。

それからほぼ 20 年後、四つのテストを提唱したハーバート J. テーラーも来日されています。岐阜ロータリークラブによって岐阜公園に寄贈された四つのテストの銘板の前で記念撮影を受けた写真が残されています。ご承知の通り四つのテストは元々経営理念を示したものであり、商工会議所でのテーラーの話に感銘を受けた他のロータリアンがいたことでロータリーに取り入れられることになりました。

さて、ロータリーは様々な変化をしつつ規範も大きく緩和されることになりました。毎週必ず出席する義務はなくなり、ひと月に 2 回以上の例会開催でよく、メーキャップもその年度の中で済ませればよいのです。オンラインによる例会開催も許され、包括する職業範囲でも社会奉仕活動も対象となりました。こういった今の状況に戸惑いはないでしょうか。

創成期においてポール・ハリスはことあるごとに寛容の精神の大切さを説いています。現在 RI は DEI(多様性、公平さ、インクルージョン)という新しいテーマを掲げるようになりました。その内容をよく読み込めば、実はそのどれもが寛容の精神に収束していくことが理解できます。ただポール・ハリスの時代に比べ現代では寛容であるべき範囲が拡大化、複雑化しているためにこのようなテーマを掲げる必要が出てきたと捉えればよいのです。

まず伝えたいことは、Rotary は楽しい場所ではなくてはならないという

ことです。親睦と奉仕が Rotary の両輪とは言われますが、親睦が前提とした上での奉仕と考えます。そうでなければ、いくら奉仕の大切さを説いてもメンバーの心に届くことはありません。

その為には親睦にもメンバーが心得るべきルールがあります。

1. いばらない
2. おこらない
3. 否定しない
4. 相手の心を傷つけない

Rotary では取引上の利害関係はほとんどなく気さくに周り話し合える良さがあります。そのためなおさらこういったルールを全員がわかまえておく必要があるのではないのでしょうか。

さて、皆さんは何のために奉仕するのかと問われてどう答えますか。Rotary 創設当時のアメリカでも同じ思いを抱いたロータリアンが多く存在しました。当初のクラブの目的は、親睦、取引の相互支援にあったからです。その為クラブメンバーが納得できるだけの奉仕に対する哲学、もしくは指針が必要となりました。

その苦心のあとがロータリー章典に残されています。1923 年の社会奉仕に関する声明がそれであり、「Rotary は人生哲学である」としています。続けて

1. 自ら利益を得たいという欲求
2. 他者のために良きことをすべきという義務感
3. 同じく他者のために良きことをしたいという願い

心にある三つの葛藤を鎮め調和させる哲学であり、それが奉仕の哲学だということです。

そこには二つの標語があり、ひとつはフランク・コリンズ原案による Service Above Self 「超我の奉仕」。もうひとつが皆さんよく耳にされるアーサー・フレデリック・シュeldon 原案による「最もよく奉仕する者最も多く報われる」。でも正式文書である英文は「One profits most who serves best」であり、厳密に言えば「報われる」とは言っていないのです。英語の原文をネイティブの立場で表現するなら、「最も利益を稼ぐ人は最も優れた奉仕を実践している」となります。当時イギリスのロータリークラブがこの標語は撤廃すべきだと唱えました。Profit (お金を稼ぐ)は品がないというのが理由で。しかし元々この標語はシュeldon の提唱していた経営理念を奉仕の哲学に転用したもので、奉仕の世界でもりっぱに通用するといつてよく、今でも撤廃されずに残されています。当時の日本のロータリアンもこの英文を訳すとき profit が気になったようで「報われる」としましたが、かえってこれにより日本人にとって受け入れやすい標語に変貌したと思います。ここが日本人のすばらしさであり、単にアメリカの奉仕哲学をそのまま鵜呑みにせず、日本に適合するようにアレンジして取り入れたと言えます。ただどちらにしても職業において奉仕の意識を忘れないことが肝要だと説いているのです。

さて何の為奉仕するのかを再度自分自身に問うことにします。これまでロータリー創成期である原点を覗いたことで、ロータリーの奉仕の思想は職業奉仕に基づいていることが分かりました。職業に臨む時、周りに奉仕する気持ちを忘れないことが自分の職業を更に発展させることに繋がり、究極的には奉仕は自分の為といえます。元々 Rotary は個人の成長に焦点を当てていたのです。一方で、ある意味職業奉仕は難しい面も持ち合わせています。何故なら相手から対価を受け取る行為が含まれるからです。その際、先に述べた三つの葛藤を鎮め調和させているかを自らに問う必要があります。そういった姿勢を元に奉仕事業に臨んでほしいという願いが先の奉仕哲学に込められているのではないのでしょうか。当然奉仕事業は相手から対価を求めません。その中で様々な困難に出会うことがあるかもしれませんが。迷いが生まれたなら、もう一度原点に戻って奉仕をする意味を見出す姿勢が不可欠といえます。現在ロータリーにも様々な変化が訪れています。そのような変化に心感わず対応するには、ふたつの「しんか」が求められます。まず原点を見つめ自分なりに考えを深めしっかり根を張る「深化」。そしてその上で新しい変化を受け入れる「進化」です。RI は職業奉仕を起点に現在は五大奉仕へと拡大し、特に人道支援に大きく舵を切っていますが、あくまでも全世界に向けて共通のメッセージを送らざるを得ません。ロータリーの原点を踏まえながら、「profit」を報われるとした先人のロータリアンのように、日本人にとって相応しい形にアレンジしつつ変化を取り入れる知恵が求められています。

9月23日 会員家族交流会 高山 洲さき



ニコボックス報告(第3051回例会)

分区のトップのクラブにお訪ねして勉強させていただきます。東尾張分区 ガバナー補佐 津坂守英、分区幹事 小塚美知子
 本日はよろしくお願ひいたします。地区副幹事 光岡主税
 津坂ガバナー補佐、ようこそお越し頂きましてありがとうございます。本日の卓話、宜しくお願ひ致します。会長 青山稔、幹事 鈴木光彦
 88才の誕生日を祝っていただきありがとうございます。増岡錦也
 津坂ガバナー補佐、ようこそ瀬戸 RC へ。一年間大変ですが頑張ってください。加藤令吉
 せもの祭では大変お世話になりました。少し激しい雨もありましたが、無事

に終了しました。ありがとうございました。カネ三加藤克己、松本哲也
 せもの祭、お疲れ様でした。増岡錦也、大竹一義、加藤捷、加藤定江、松村晋也、伍春加藤克己
 加藤令吉先生のNHKテレビ出演で、瀬戸のPRをありがとうございました。増岡錦也、大竹一義、加藤捷
ガバナー補佐 津坂守英君の卓話を楽しみにしています!
 青山貴彦、一山清二、稲垣孝幸、井上博、江坂正光、大澤英雄、大竹一義、刑部祐介、小野隆浩、梶野輝雄、勝谷哲次、加藤一夫、伍春加藤克己、カネ三加藤克己、加藤定江、加藤捷、加藤真言、加藤陽一、小林稔、澤田武憲、鈴木伸、鈴木政成、高橋信郎、田中靖達、花田薫、平松啓、藤田哲安、牧オサム、増岡錦也、松村晋也、山口記由、山本英雄、柚木猛

発行：RI 2760地区 瀬戸ロータリークラブ 〒489-8511 愛知県瀬戸市見付町 38-2 瀬戸商工会議所内
 会長 青山 稔 / 幹事 鈴木光彦 / 広報・雑誌・会報委員会 大澤英雄・草野真吾・加藤 捷・加藤唐三郎
 TEL0561-84-1160 FAX 0561-84-0116 E-mail:setorc@titan.ocn.ne.jp <https://www.setorotary.com/>